

有隣会記念講演会開催状況

(1回～14回は敬堂会、15回以降は有隣会)

回	年月日	所 属	講 師	タ イ ト ル
1	1955年 7月8日	東京大学教授 法学博士	尾 高 朝 雄	国際経済建設と日本の役割
2	1956年 8月13日	京都大学教授 文学博士	吉川 幸次郎	中国古典と現代
3	1957年 7月28日	日本ユネスコ国内委員会々長 元文部大臣・日本育英会々長	前田 多門	東西文化の交流
4	1958年 7月28日	東京大学教養学部講師	竹山 道雄	日本の美しさ
5	1959年 7月28日	建築家	丹下 健三	日本建築の伝統と現代建築
6	1960年 7月28日	京都大学人文科学研究所長	桑原 武夫	日本の近代
7	1961年 7月28日	京都大学人文科学研究所教授	水野 清一	東西文化交流の跡を訪ねて
8	1962年 6月23日		大原 總一郎	欧洲諸国の印象
9	1963年 7月29日	交通史学会々長	三井 高陽	楽しき郵便史
10	1964年 7月28日	石井記念愛染園理事長 今川学園理事長 大阪セツルメント研究協議会会長	大原 總一郎 三木 達子	石井十次翁の回顧 民間社会事業と石井十次先生
11	1965年 9月25日	才能教育研究会会長	鈴木 鎮一	世界の夜明けは子供から 児童の才能教育について
12	1966年 7月28日	文学博士 大手前女子大学長	中村 直勝	和氣清麿公と治水
13	1967年 7月28日	北海道大学名誉教授 医学博士	児玉作左衛門	アイヌ民族について
14	1968年 7月29日	前京都大学長 京都大学名誉教授 医学博士	平 沢 興	脳から見た人類
15	1969年 7月30日	元東京大学総長	茅 誠 司	大原さんと二十一世紀の日本
16	1970年 7月27日	東京大学名誉教授 経済学博士	大内 兵衛	社会主義の婦人像
17	1971年 7月28日	朝日新聞論説委員 元東京工業大学教授 ドクター・オブ・フィロソフィ	永井 道雄	何のための教育か
18	1972年 7月27日	板画家	棟方 志功	風流
19	1973年 7月27日	陶芸家 日本民芸館々長	濱田 庄司	バーナードリーチのこと
20	1974年 7月27日	経済評論家	稲葉 秀三	日本の経済はどうなるか
21	1975年 7月28日	労働科学研究所理事長	森戸 辰男	敬堂の夢と現実
22	1976年 7月28日	京都大学人文科学研究所教授 文学博士	会田 雄次	未来社会と日本の人間関係
23	1977年 7月27日	前文部大臣	永井 道雄	日本の教育を考える
24	1978年 7月27日	ハーバード大学教授 京都大学教授	広中 平祐	これからの教育について
25	1979年 7月27日	組織工学研究所所長 工学博士	糸川 英夫	これからの世の中とくらし

有隣会記念講演会開催状況

(1回～14回は敬堂会、15回以降は有隣会)

回	年月日	所 属	講 師	タ イ ト ル
26	1980年 7月27日	大阪市立大学教授 大阪ボランティア協会理事長	柴田 善守	石井十次と大原孫三郎
27	1981年 7月29日	京都市立芸術大学教授・前学長	梅原 猛	私の日本学
28	1982年 7月27日	日本学士院院長 経済学博士	有澤 廣巳	民主主義を守るために —大原總一郎氏を回想して思うこと—
29	1983年 7月27日	経済評論家	稲葉 秀三	日本の現在と将来 —大原總一郎氏を回想して—
30	1984年 7月27日	教育学博士 京都大学教授	河合 隼雄	病いの意味
31	1985年 7月27日	前駐米特命全権大使	大河原 良雄	日米関係の展望
32	1986年 7月26日	東北大学教授 半導体研究振興会常務理事(研究所長)	西澤 潤一	これからの電子工業
33	1987年 7月28日	詩人 評論家	大岡 信	日本の文化と世界
34	1988年 7月28日	京都大学教授 総合研究開発機構理事 法学博士	矢野 暢	文明としての日本
35	1989年 7月28日	朝日新聞社取締役論説主幹	松山 幸雄	国際化時代の日本と日本人
36	1991年 7月26日	作家	陳 舜 臣	旅と文学
37	1992年 7月28日	日本学士院会員 青山学院大学教授 東京大学名誉教授	小宮 隆太郎	最近の日米経済関係
38	1993年 7月27日	京都大学名誉教授 日本モンキーセンター所長	河合 雅雄	サルはどうしてヒトになったか
39	1994年 7月27日	神戸大学教授	五百旗頭 真	変動する世界と日本
40	1995年 7月27日	ニューヨーク市立大学教授	霍見 芳浩	ボーダレス地球時代の日本再活
41	1996年 7月25日	大阪大学名誉教授 東亜大学大学院教授	山崎 正和	文化と政策と地域社会
42	1997年 7月25日	生命誌研究館副館長 大阪大学連携大学院教授	中村 桂子	二一世紀は“生命”を基本に
43	1998年 7月28日	慶應義塾大学経済学部教授	島田 晴雄	日本再浮上の構想
44	1999年 7月27日	大原美術館長	小倉 忠夫	文化と国際性
45	2000年 7月28日	京都造形芸術大学学長	芳賀 徹	“洋画”の運命 ～日本近代のなかの画家たち～
46	2001年 7月26日	元 国連事務次長 日本予防外交センター会長	明石 康	世界の中の日本
47	2002年 7月26日	ノンフィクション作家・評論家	柳田 邦男	いのちを映す言葉
48	2003年 7月25日	大原美術館館長	高階 秀爾	西洋の美と日本の美 —絵画に見る美意識の東西—
49	2004年 7月27日	国際日本文化研究センター教授	川勝 平太	海の洲(くに)の顔—国づくりと瀬戸内海
50	2005年 7月27日	財団法人大原美術館理事長 倉敷芸術科学大学客員教授	大原 謙一郎	美神の使徒と巖頭の獅子 —児島虎次郎と石井十次と 倉敷をめぐる話題—

有隣会記念講演会開催状況

(1回～14回は敬堂会、15回以降は有隣会)

回	年月日	所 属	講 師	タ イ ト ル	
51	2006年 7月27日	建築家	安藤 忠雄	文化の力	
52	2007年 7月27日	児童文学作家	あさのあつこ	岡山が与えてくれたもの	
53	2008年 7月25日	岡山大学 資源生物科学研究所 教授 准教授 准教授 准教授 教授	武田 和義 江崎 文一 且原 真木 榎本 敬 馬 建鋒	倉敷からみた地球環境の現状と未来	
54	2009年 7月29日	㈱クラレ代表取締役会長 国際日本文化研究センター所長 大原美術館館長 くらしきコンサート代表 テレビ・マネージング エグゼクティブ・プロデューサー	和久井 康明 猪木 武徳 高階 秀爾 大原 れいこ	生誕百年・大原総一郎を考える	
55	2010年 7月27日	工学博士 旭化成株式会社 フェロー	吉野 彰	リチウムイオン 二次電池の開発経緯と今後の展開	
56	2011年 7月27日	静岡文化芸術大学学長 (財)林原美術館館長	熊倉 功夫	花鳥風月 日本の美	
57	2012年 7月27日	青山学院大学特任教授 前国際日本文化研究センター所長	猪木 武徳	関東大震災と日本の経営者たち	
58	2013年 7月24日	民俗学者	神崎 宣武	高梁川流域の風土と気質	
59	2014年 7月29日	公益財団法人労働科学研究所所長	酒井 一博	暉峻義等の精神を現代に生かす —暉峻義等の思いと実践—	
60	2015年 7月28日	公益財団法人サントリー文化財団 特別顧問	山崎 正和	装飾としての藝術と認識としての藝術	
61	2016年 7月27日	JAXA シニアフェロー／教授	川口 淳一郎	太陽系大航海時代に挑む	
62	2017年 7月28日	独立研究者	森田 真生	数学を通して人間を考える —岡潔と数学の「情緒」—	
63	2018年 7月27日	京都大学大学院法学研究科教授	待鳥 聡史	アメリカ政治の基本構造とトランプ政権	
64	2019年 7月27日	東京大学大学院理学系研究科 教授 ペプチドリーム創業者、元社外取締役 ミラバイオロジクス創業者、取締役	菅 裕明	異端は認められた瞬間に先端に変わる :アカデミア研究者としてのイノベーション	
65	2021年 10月7日	—大原記念労働科学研究所百周年シンポジウム— わしらの眼は〈100〉年先が見える			
		【基調講演】			
		作家	江上 剛	百年先が見えた男—大原総一郎	
		【シンポジウム】大原孫三郎の思いを紡ぐ労働科学研究所—SDGsと地域企業—			
		大原記念労働科学研究所 所長 副所長 研究部長	坂本 恒夫 北島 洋樹 余村 朋樹	研究所の現代的存在価値 人と機械と労働 人と組織と地域	
66	2022年 7月27日	総合地球環境学研究所所長 前京都大学総長	山極 壽一	人類はどこで間違ったのか —ゴリラの目で見たコロナ後の社会—	